## ＜参考＞令和８年度病床機能再編支援事業　申請医療機関一覧

注１「稼働率（H30）」：平成30年度病床機能報告において、「高度急性期、急性期、慢性期」と報告した病床数の減少を伴う再編に対する補助金であり、報告時の病床稼働率等により補助単価が異なります。

注２「稼働率（R6）」：今回の病床削減による地域の医療提供体制への影響を検討する参考データとして、令和6年度の病床稼働率を記載しました。なお、各地域の調整会議においては、病床削減による地域の医療提供体制への悪影響を懸念する意見はありませんでした。

| 医療機関名 | 医療圏 | 削減前病床数<br>① | 削減病床数(機能)<br>② | 削減後病床数<br>③（①－②） | 稼働率(H30)<br>注１ | 支給額(千円) | 稼働率(R6)<br>注２ | 備考 ※当該医療機関から報告された削減理由等を記載 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アビコ外科整形外科病院 | 東葛北部 | 28床 | ▲28床(急性期) | **0床** | 85.90% | 62,928 | 66.40% | **・病院　→　無床診療所**<br>・人材確保が厳しく、既存の建物・医療設備の老朽化により医療提供体制の維持が困難となったことから無床診療所として事業を継続。 |
| 日吉台病院 | 印旛 | 66床 | ▲10床(急性期)<br>▲6床(休棟) | 50床 | 64.70% | 15,960 | 46.80% | 人材不足により全病床を運用できず慢性期患者への対応が困難になったため、病床を減らすことで負担を軽減し、急性期病院からの患者受け入れ体制を強化するため。 |
| 国保匝瑳市民病院 | 香取海匝 | 89床 | ▲4床(急性期) | 85床 | 50.70% | 5,472 | 55.20% | 急性期病床が過剰な香取海匝医療圏にとって急性期病床の削減は地域医療構想の実現に必要と考える。 |
| とうがね中央糖尿病腎クリニック | 山長夷 | 19床 | ▲19床(慢性期) | **0床** | 99.80% | 43,320 | 71.60% | **・有床診療所　→　無床診療所**<br>・H30は高い稼働率であったが、直近では稼働率が低下。<br>・病床を削減し、入院医療から外来・在宅・介護への連携体制の強化へ機能転換を図る。 |
| 清川医院 | 安房 | 14床 | ▲9床(急性期) | 5床 | 5.80% | 10,260 | 0.1% | 地域の出生数の著しい減少のため削減。 |
| 森田医院 | 君津 | 19床 | ▲4床(急性期) | 15床 | 92.30% | 9,120 | 88.50% | 君津医療圏では急性期病床が過剰なため、削減することで地域医療構想の実現に貢献できると考える。 |
| 千葉労災病院 | 市原 | 400床 | ▲18床(高度急性期)<br>▲20床(急性期)<br>▲2床(休棟) | 360床 | 87.70% | 77,976 | 92.10% | 看護職員等を効率良く配置することにより救急機能を強化・維持していくため削減。 |
| 宗田マタニティクリニック | 市原 | 18床 | ▲8床(急性期) | 10床 | 22.40% | 9,120□ | 31.30% | 人的資源を有効活用することで安定した医療体制を整え、特に分娩後の産後ケアや長期のフォローを含めた周産期管理を強化する。 |
| 合計（8医療機関） | | | ▲120床 | | | 234,156 | | |

※休棟8床は除く